

法人沿革

- | | | | |
|--------|--|--------|---|
| 1984 年 | 「地域に開かれた病院」という故長崎太郎
ブース記念病院院長の提唱に賛同した
杉並協会牧師(当時)故二神三男氏の呼
びかけによって、学習会が開始される。 | 1989 年 | 活動範囲が広がり、在宅ボランティア活
動が開始される。 |
| 1986 年 | ボランティアサークル「ともしび会」が
発足する。同年9月、ボランティア講座を
始める。 | 2000 年 | 東京都より認証を受け、NPO法人「と
もしび会」となる。デイサービスセンター
「大宮ふれあいの家」を開所する。 |
| 1988 年 | ボランティア活動開始。当時強制隔離を
強いられていたハンセン病療養所「国立
多摩全生園」のボランティア活動開始。 | 2002 年 | ヘルパーステーション「えん」の事業が
開始される。 |
| | | 2008 年 | ケアプラン「えん」の事業が開始される。 |
| | | 2016 年 | 杉並区の委託を受け認知症高齢者家族
支援「安らぎ支援事業」が開始される。 |

NPOともしび会のボランティア活動をお支えください。

- ボランティアを募集しています！
 - 賛助会員としてお支えください。
- 会の趣旨に賛同し財政的に支えて下さる方を

募集します。毎月一口600円の会費でNPOともしび
会の活動をお支え下さい。

- ヘルパー募集中！



NPOともしび会センター	〒166-0012	杉並区和田1-12-20	電話 03(5342)5909
	Fax 03(6904)7520	Email tomosibikai@mbr.nifty.com	
ヘルパーステーション「えん」	杉並区和田1-12-20	電話 03(6382)5775	Fax 03(6904)7520
ケアプラン「えん」	杉並区和田1-12-20	電話 03(5342)0518	Fax 03(6904)7520
大宮ふれあいの家	杉並区堀ノ内1-16-38	電話 03(5377)7025	Fax 03(5377)7026
理事会	法人代表・理事長/真鍋孝幸	理事/今泉淳一郎	小野木みき子 神谷幸男 小林善和
	谷津慎子 吉川三和子	監事/鈴木花江	高橋久子

NPO「ともしび会」 を知ってもらうために



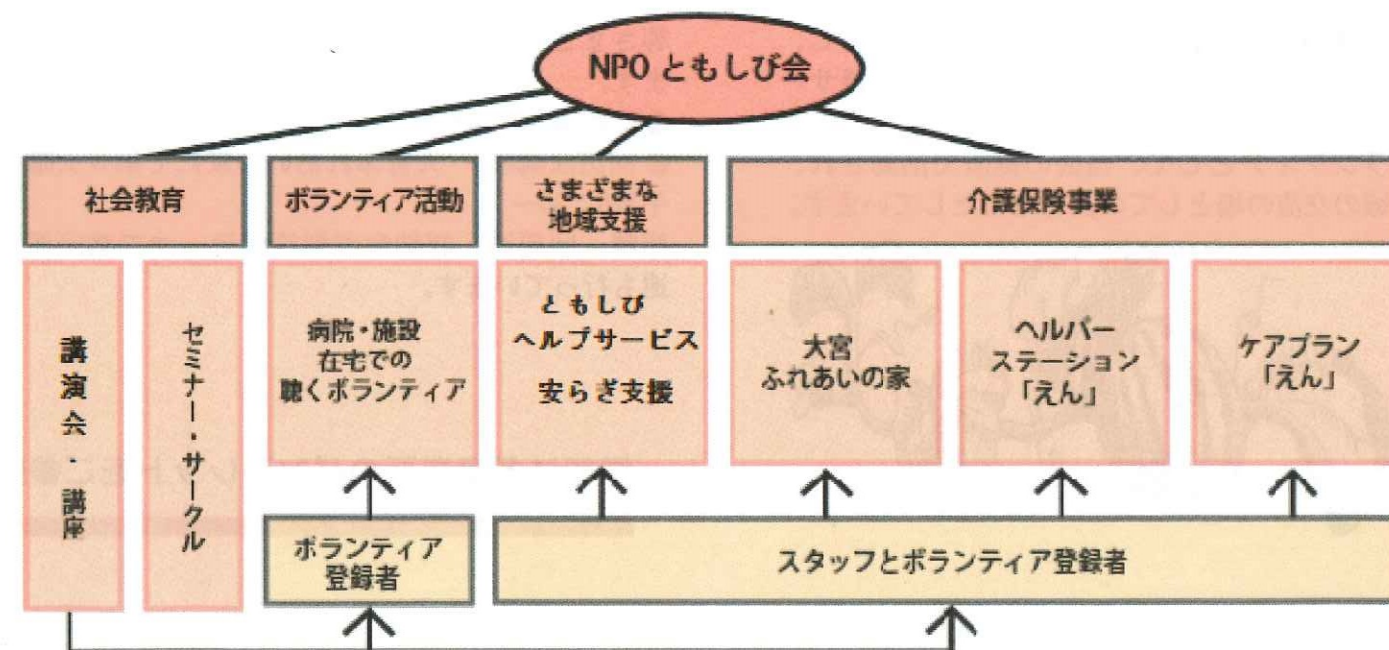
- 私たちは学習と活動を通して円熟した人間関係をめざします。
- 自分で引き受けたことは責任をもって実行します。

- よい聴き手、よい隣人となります。
- ともしび会3原則

ともしび会が目指しているもの

わたしたちの会は、創立当初から、「心を聴く」ということを大切にして、ボランティアとして活動してきました。そして、老いるとは、たとえばケアが必要になっても、「年齢」を重ねることであり、人生の階段を昇り続けることであること、そのことを様々な人生の先輩の方々との出会いを通して学んできました。2000年、自分の地域で「安心して老いる」ことが出来ることを願って任意団体から、特定非営利活動法人(NPO)として、法人格を取得しました。わたしたちは、ケアとは、本来、ケアする人とされる人というような関係ではなく、ケアを通して生み出される新たな人間関係であり、ケアする者もやがてケアされる者となる、そしてそこからまた新たな関係が生まれる、それをケアと考えて活動してきました。

現在は、「居宅介護支援事業所」(ケアマネージャー部門)「訪問介護事業」(ヘルパー派遣)「通所介護事業」(デイサービス)の三事業を通して、トータルなケアを目指しております。またそのために、スタッフとボランティアが協働して地域の要請に応じていければと願っています。日本は益々高齢化が進み、4人に1人が高齢者と言われています。そのような社会にあって、地域で、個々のプライバシーと信条・価値観が尊重されながら、助け合い、支え合う社会の仕組みを作らねばなりません。微力ではありますが、様々な地域の社会資源とのつながりを大切にしてその一助を担う地域に根差したNPOを目指して行きたいと考えています。



ボランティア部門

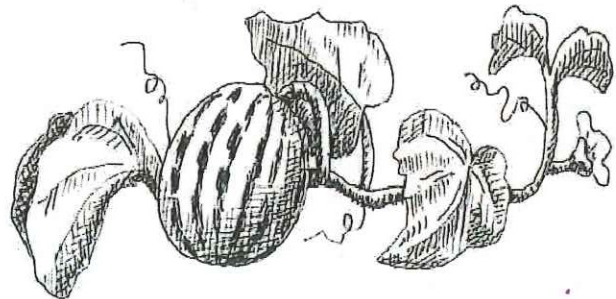
「聴く」ということは私たちの活動の根幹をなすものです。相手の「心を聴く」ということの物差しをありのままに受容することです。老いのつらさ、病気のつらさ、やるせなさ、死への不安などを、自分の価値観によってではなく、相手の身になってうけとめることは大変難しいことです。しかし、それを目指して、当会ではボランティアを養成してきました。養成講座を経たボランティアたちが、病院、施設在宅で活動しています。

ボランティアとして関わっている病院・施設

- 国立療養所多摩全生園・・・ハンセン病施設。
「やすらぎ病棟」で隔週木曜日に活動。
- 信愛荘（老人ホーム）・・・月1回
- 在宅・・・介護保険を利用するような状態ではないが、寄り添いが必要な方に、身の回りのお世話も含めて関わっています。
- 当会のデイサービスセンター「大宮ふれあいの家」にも多くの会員がボランティアとして関わっており、月20～30名が活動しています。

さまざまな地域支援

現在、さらにボランティアの枠をひろげ、介護保険でカバーできない介護の要望、介護する人の援助等、地域の様々の要望に応じて、高齢者にとどまらず、子育て支援も含めて、トータルな地域の助け合いのシステムづくりに尽力し、「ともしびヘルプサービス」「安らぎ支援サービス」などを行っています。また地域の方々がボランティアとして、当会の施設で活動され、地域の交流の場としての働きも果たしています。



ともしびヘルプサービス

介護保険制度適用外のケアを有償で行っています。対象の高齢者に限りません。見守り、散歩の付き添い、お話相手、お出かけの付添い、掃除、食事作り等

安らぎ支援サービス

認知症の介護者の支援を区の委託を受けて行っています。認知症の介護でお悩みを抱えている家族の方に、少しでも気持ちの安らぎを得て頂けるようボランティア（安らぎ支援員）を派遣します。

サービス内容： 1、家族の話の傾聴、相談相手
2、高齢者本人の話相手や見守り、声かけ

社会教育

地域に開かれたセミナー、サークル

- セミナー「老いと死を考える」・・・第2金曜午後1：30～4：30。さまざまなテキストを素材に出席者がそれぞれの思い出を語り合います。
- 押し花サークル・・・金曜午後1：00～3：30。
押し花のカードづくりをしています。
- 気功サークル・・・隔週水曜午前10：30～12：00。

講演会、講座

老いや背をめぐる問題、ボランティアの在り方等さまざまなテーマで適時講演会を開催しています。

- 傾聴講座・・・随時
- 回想法講座・・・大宮ふれあいの家にて第3火曜午後6：30～
傾聴、回想法、認知症理解等のテーマで講師派遣も行っています。

大宮ふれあいの家

大宮ふれあいの家は、大宮中学校の余裕教室を利用したデイサービスセンターです。高齢者の方々が住み慣れた地域で、あんしんして生き生と豊かな時間を過ごしていただくための「居場」です。体操や散策などの「介護予防」回想法などの「認知症予防」に力を入れています。

緑あふれる環境

緑あふれる自然の中で季節感のある散策をお楽しみいただきます。

豊富なプログラム

さまざまなプログラムから、個々のご要望に合わせたサービスを楽しんでいただけます。ゆっくり過ごされたい方は寄り添いボランティアとの談話の時間を持っていただけます。

地域の中での役割

近隣の小・中学校、児童館との交流や杉並区民の方々の貢献の場となっています。

ケアプラン「えん」

ぬくもりのある家庭的な雰囲気大切に、利用者お一人ひとりに寄り添ったプランを作成します。

ケアマネジャーって何をしてくれるの？

介護支援専門員（ケアマネジャー）とは、要介護認定の申請代行や居宅介護計画（ケアプラン）の作成をします。また、介護を必要とする方やご家族への相談、助言、サービス業者への連絡や調整などを行います。

ともしび会の「心を聴く」という基本精神に基づいてご利用者の声を十分にくみ取り、私たちの専門性を生かしてプランを立てていきます。またボランティアを含めた多角的なプランづくりを目指します。

ヘルパーステーション「えん」

介護とは”支え合い”です。お世話する人がいてお世話される人がいるという一方通行の関係ではなく、お互いが開いてを大切にするなかで然と援助できるような関係、それが「介護」（ケア）であると考えて、日々、利用者の皆様に接しています。

名前の由来

「えん」という名前には
「人と人のつながり(縁)を大切にしたい」
「人の輪(円)を大切にしたい」
という意味が込められています。

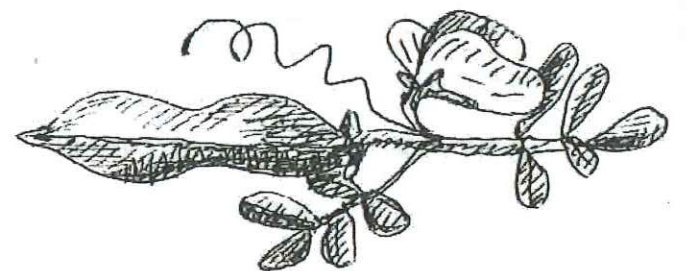
利用者の方の立場に立った専門性の高いケア利用者の方々一人ひとりの生活スタイルを大切にしたいケアを、介護福祉士等の有資格スタッフが行います。

ボランティア部門と連携

介護保険で行える介護は限られています。利用者の多様なニーズにこたえるために介護保険で対応できないケアについてはご相談を承っています。

サービス内容

- 1、身体介護
 - 食事援助・・・食事介助、口腔ケア等の食事に関わる介助
 - 入浴介助・・・入浴、シャワー浴、清拭等の清潔保持にかかわる介助
 - 排泄介助・・・トイレ誘導、ポータブルトイレ誘導、オムツ交換等の排泄にかかわる介助
- 2、生活援助
ご本人に対する洗濯、掃除、買い物、調理等の家事に関する援助



詳細は各事業所のパンフレットをご参照ください。当法人は個人情報保護を遵守します。